

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R2-9号)

令和2年8月21日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和2年8月20日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

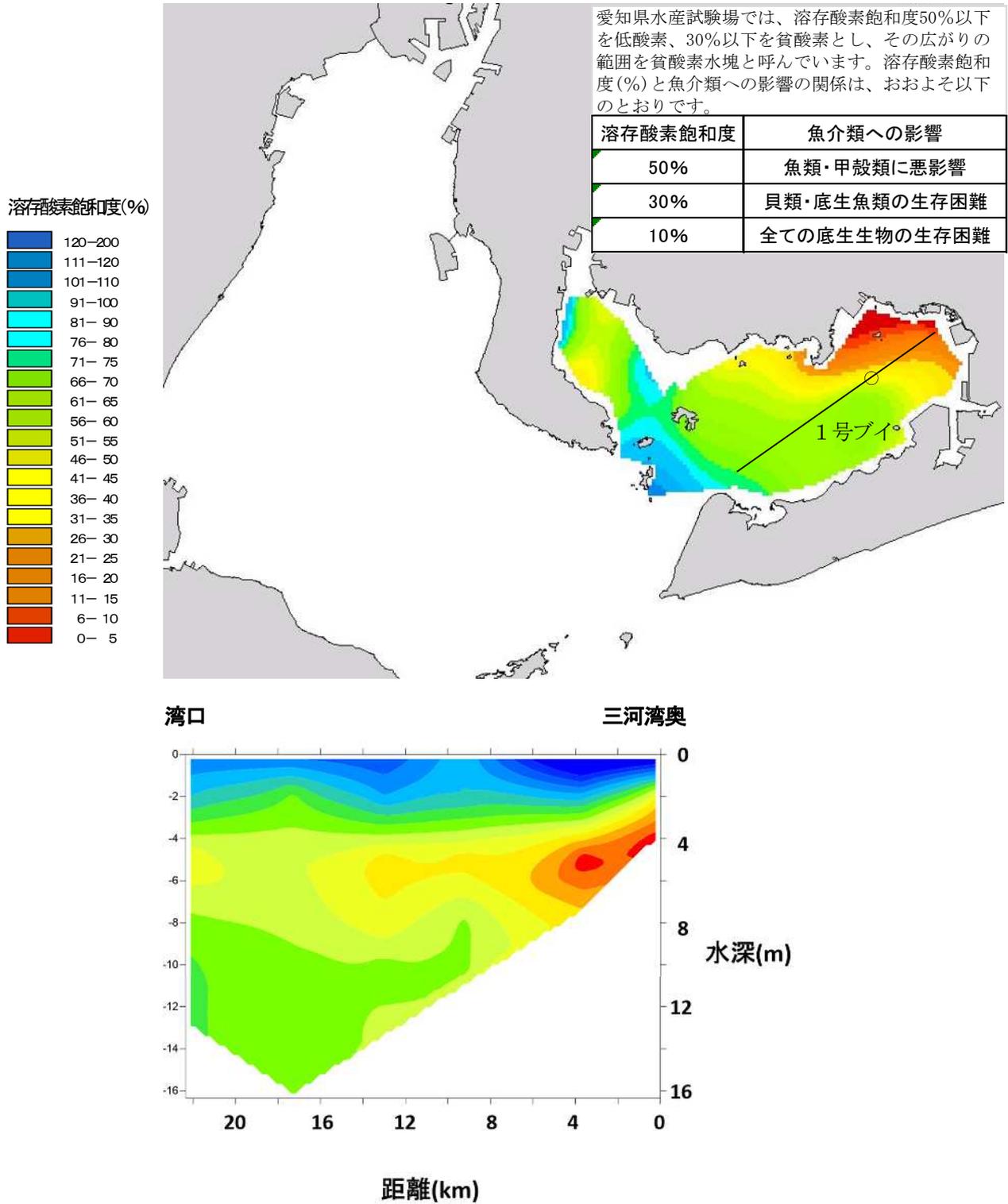


図1 三河湾(8月20日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

三河湾

8月20日の調査結果を図1に示しました。前回調査で渥美湾全体に分布していた貧酸素水塊は、湾奥北部に縮小していました。また知多湾でも西部の貧酸素水塊が解消していました。鉛直分布図では湾口側の底層に酸素濃度の高い水塊がみられ、外海水が底層に流入して貧酸素が解消したと考えられました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）においても、8月17日以降、底層に外海水が流入し貧酸素が解消していく様子が確認されています（図2）。

貧酸素は一旦、縮小したものの水温・塩分躍層はさらに発達しており、今後も表層水温が高い状態が継続すると考えられることから、貧酸素水塊は再び拡大するものと思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	24.2~31.8	21.1~28.9
底層	19.1~25.8	30.1~33.9

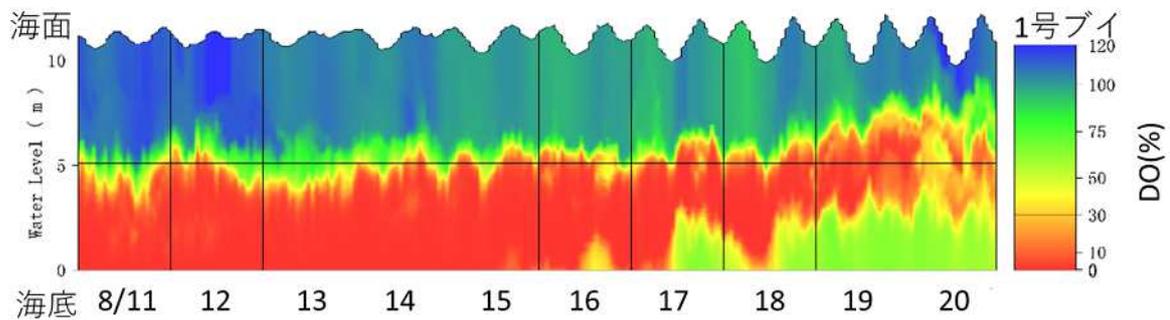


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況（図3）

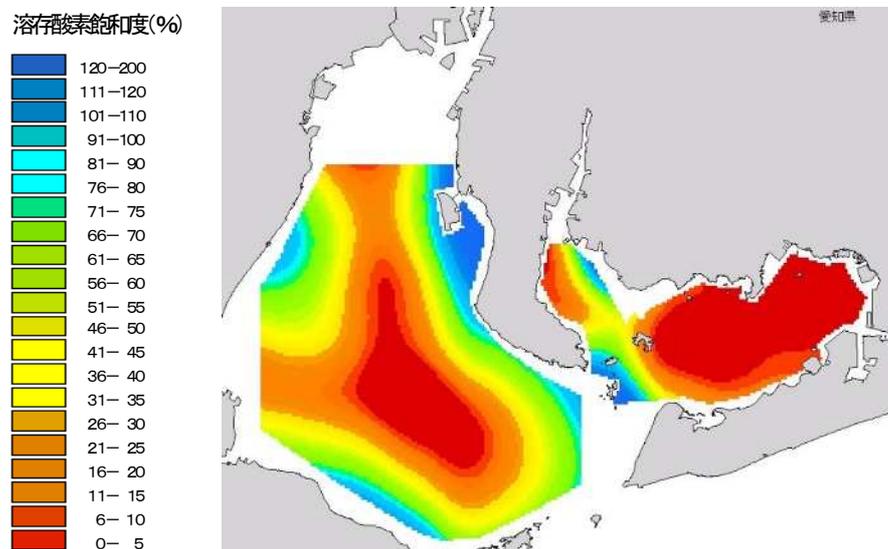


図3 令和2年8月6、7日（伊勢湾、三河湾）